



一般社団法人日本スーパーマーケット協会

平成29年10月 マンスリー レポート

集計企業数 55 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	56,078,775 万円	100.0%	99.8% (102.2%)	54,172,466 万円	98.1% (100.4%)
食 料 品	47,230,433 万円	84.2% (85.4%)	99.7% (102.2%)	45,848,298 万円	98.1% (100.6%)
農 産	6,914,134 万円	12.3% (13.1%)	91.0% (99.6%)	6,716,360 万円	89.6% (98.1%)
水 産	4,196,628 万円	7.5% (7.6%)	97.7% (98.7%)	4,070,786 万円	96.0% (97.1%)
畜 産	6,287,352 万円	11.2% (10.7%)	107.2% (106.2%)	6,091,245 万円	105.3% (104.3%)
惣 菜	5,373,326 万円	9.6% (9.9%)	98.7% (101.6%)	5,200,979 万円	96.8% (99.7%)
日配食品	10,843,199 万円	19.3% (19.6%)	100.4% (102.3%)	10,528,061 万円	98.9% (100.8%)
加工食品	13,615,792 万円	24.3% (24.5%)	101.9% (103.3%)	13,240,867 万円	100.5% (101.8%)
生活関連	3,709,334 万円	6.6% (6.4%)	99.2% (101.9%)	3,615,164 万円	98.3% (101.0%)
衣 料 品	1,801,008 万円	3.2% (2.7%)	99.0% (99.6%)	1,732,020 万円	98.2% (98.7%)
そ の 他	3,338,000 万円	6.0% (5.5%)	102.4% (103.1%)	2,976,984 万円	97.2% (97.6%)

② 数 値

全店総売上高	56,078,775 万円	店 舗 数	4,711 店舗
総売場面積	9,434,026.5 m ²	総従業員数	244,977 人

店舗平均月商	11,903.8 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,897.6 円 (103.1%)
月間m ² 売上(前月)	5.9 万円 (5.8 万円)	平均店舗面積	2,002.6 m ²
月間坪売上(前月)	19.7 万円 (19.2 万円)	パート比率(前月)	77.8% (77.9%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 10月の天候環境について、雨天日が多く、降水量は台風第21号・22号や秋雨前線、低気圧の影響で、北日本太平洋側と東・西日本でかなり多くなり、客数と売上に大きな影響を与えた。
また、平均気温は沖縄・奄美でかなり高かった一方北日本では低く、前年差においては全国的に下回る地域が多かった
- ・ 生鮮品の相場状況について、農産物では野菜全般が大幅安値のため売上の確保が難しかった。果実においても旬の「りんご」や「みかん」の相場が低く、売上にマイナスの影響を与えた。
水産物においては、旬の「さんま」や「さけ」、「かつお」が不漁や入荷減の影響により高値となり、鮮魚全体の売上を苦しめた。
畜産物では、国産の豚肉と鶏むね肉の高値傾向が続いているが、畜産全体の売上は好調を維持している
- ・ 前年と比べ、火曜日が1日多く土曜日が1日少ない曜日廻りだったため、売上にはマイナスの影響を与えた

《 商品動向 》

○ 農産

- ・ 前年相場高の裏年、特に野菜全般の相場安により、売上は不調であった
- ・ 「きゃべつ」や「レタス」、「きゅうり」などのサラダ野菜が相場安のため、「カット野菜」が不調であった
- ・ 平均気温が前年を下回る地域が多く、「菌茸類」を中心に鍋野菜が好調であった
- ・ シーズンの出回りが遅れた「なし」や「ぶどう」は好調であった
- ・ 「りんご」や「みかん」、「バナナ」は相場安により、売上は不調であった

○ 水産

- ・ 旬の「さんま」や「秋鮭」、「戻りかつお」は不漁のため不調であった
- ・ 生鮭が不調であった一方、塩干の「銀鮭」は好調であった
- ・ 平均気温が前年を下回る地域が多く、「たら」などの鍋用の「切身」が好調であった

○ 畜産

- ・ 平均気温が前年を下回る地域が多く、「牛すきやき用」や「豚しゃぶしゃぶ用」、「生つくね」などの鍋商材が好調であった。
さらに畜産部門で品揃えの「鍋つゆ」も好調であったとのコメントが見受けられた

○ 惣菜

- ・ 「かきめし」や「カキフライ」など、牡蠣を使用した惣菜が好調であった
- ・ 売上は徐々に回復傾向も、ポテトサラダの不調が続いている

○ 日配・加工食品

- ・ 平均気温が前年を下回る地域が多く、日配品においては、「おでん」や「練り物」、「こんにゃく」「チルドめん」などのホット商材が好調であった一方、「アイス」や「チルド飲料」が不調であった
- ・ 加工食品においても同様に、「鍋つゆ」や「ぼん酢」など鍋関連の調味料、「みそ・味噌汁」や「コーヒー・紅茶」などのホット商材が好調であった一方、「飲料」や「ビール」「ワイン」が不調であった
- ・ 菓子では「チョコレート」や「スナック菓子」が好調であった
- ・ 前年好調の反動、野菜全般の相場安により、「漬物」や「野菜飲料」が不調であった
- ・ 10月4日が十五夜（中秋の名月）にあたったため、「和菓子」が好調であったとのコメントが見受けられた

○ ハロウィーンの動向について

- ・ 菓子では小分けできる大袋が好調、惣菜ではハロウィーンにちなんだ洋惣菜にチャレンジするも、ロスが多く発生し、課題を残したとのコメントが見受けられた
- ・ 展開開始の9月は好調であったが、10月中旬以降は、品薄感や天候不良により苦戦を強いられたとのコメントが見受けられた

○ ボジョレーヌーヴォーの予約状況について

- ・ 予約については、前年を下回る見込みのコメントが多かった

以 上